

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59—206353

⑤Int. Cl.^a
C 07 D 207/335
A 61 K 31/40
31/415
31/455

識別記号
AAM

庁内整理番号
 7242—4C

④公開 昭和59年(1984)11月22日

発明の数	3
審査請求	未請求

C 07 D 401/12
403/06
403/14

7431-4 C
7431-4 C
7431-4 C

// C 07 C 93/04

6956—4H ※

(全 27 頁)

⑤4 2 - (アミノアルキル) - ピロール - 誘導
体、その製造方法及びその使用方法

②特 願 昭59—87972

②出 願 昭59(1984)5月2日

優先権主張 ②1983年5月4日③西ドイツ
(DE)④P3316187.9

⑫発 明 者 ゲルハルト・ツオーレル
ドイツ連邦共和国マインタール

・ラングウィーゼ16

⑪出 願 人 カセラ・アクチエンゲゼルシャ
フト

ドイツ連邦共和国フランクフル
ト・アム・マインーフェヒエン
ハイム・ハナウエルラントスト
ラーヤ526

⑦代理人 弁理士 江崎光好 外1名
最終頁に続く

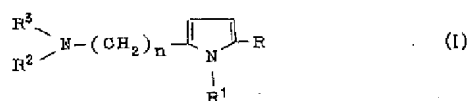
明 細 費

1. 発明の名称

2-(アミノアルキル)-ピロール-誘導体、
その製造方法及びその使用方法

2. 特許請求の範囲

(1) 一般式(I)



(式中 R は水素原子、 C_1-C_5 アルキル基、フ
 エニル基；

R¹ は水素原子、C₁-C₅ アルキル基、シアノ-アルキル (C₁-C₄) 基、アルコキシ (C₁-C₄)-カルボニル基、アルコキシ (C₁-C₄) カルボニル-アルキル (C₁-C₄) 基、R⁷ (R⁸) N-カルボニルアルキル (C₁-C₄) 基、アリール残基、アリール-アルキル (C₁-C₄) 基、この際アリール残基又はアリール-アルキル基のアリー-

ル残基は更にハロゲン原子、 C_1-C_4 アルコキシ基、 C_1-C_4 アルキル基、 $R^4(R^5)N-$ 、ヒドロキシ基、メルカプト基、 C_1-C_4 アルキルメルカプト基、ニトロ基、シアノ基、アルコキシ(C_1-C_4)-カルボニル基又はアルコキシ(C_1-C_4)-カルボニル-アルキル(C_1-C_4)基によつて1回又は数回置換されていてもよい。ヘテロアリール残基、ヘテロアリール-アルキル(C_1-C_4)基、 $R^4(R^5)N-R^6-$ 、ヒドロキシ-カルボニル-アルキル(C_1-C_4)基、1-アルコキシ(C_1-C_4)-カルボニル)-2-メルカプト-エチル基、1-(アルコキシ(C_1-C_4)-カルボニル)-2-ヒドロキシ-エチル基、1-(アルコキシ(C_1-C_4)-カルボニル)-2-アルコキシ(C_1-C_4)-エチル基、1-(アルコキシ(C_1-C_4)-カルボニル)